

令和5年度ババール園事業計画書

1. 施設理念
 - ・子どもたちの健やかな成長を支え、共に育ちあう環境づくりに努めます。
2. 施設方針・テーマ
 - ・子ども一人ひとりを大切に、養護と教育を一体的に行い質の高い保育の提供に努めます。
 - ・家庭、地域社会との連携を図り、子育て支援に努めます。
 - ・コンプライアンスを遵守するとともに、人権を尊重し安心できる環境作りに努めます。
3. 実施事業及び定員
 - (1) 保育所 定員 90 名 (0, 1, 2, 3, 4, 5 歳児各クラス 15 名)
 - (2) 保育所事業
 - 延長保育事業
 - 乳児保育事業
 - 休日保育事業
 - 障がい児保育事業
 - 一時預かり事業
 - 病児保育事業
4. 重点目標

抱負・目標

- ・子どもの人権を大切にした保育への意識を高め、さらなる保育の質の向上に努める。
- ・特色ある保育の展開。(各種事業の実施・地域資源の効果的活用)
- ・働きやすい職場作りとチームワークの構築。

昨今の保育士による虐待報道を受け「子どもを尊重する保育」についてあらためて見直す機会となった。子どもの最善の利益に資する保育の実施に向け基本的な考え方を職員間で共有するとともに、保護者と連携をとりながら子どもたちの成長発達を援助していきたい。また、少子化が進む中での園児確保も課題として取り組む必要がある。地域で唯一休日保育、病児保育の委託事業に取り組むことで、地域の子育て支援に貢献したい。

子どもたちの望ましい未来を作り出す力を培うための保育を常に意識しながら、職員一人一人、保護者、近隣地域、各事業所が共に助け合える関係性を築き、安心・安全が確保される環境づくりに努めていきたい。

- (1) 人財育成と職場定着
 - ① 入職時の初期指導の充実を図る（新規採用・育休明け職員等の復帰プログラム活用）
 - ② 課題解決能力の向上を図る（目標管理表、自己評価表）
 - ③ 労働災害防止と働きやすい職場づくりに努める。（柔軟な勤務形態の選択肢の提示、ICT活用等DX促進による事務業務の軽減）

- (2) 利用者へのサービス提供（顧客満足・質の向上）
 - ① 子どもの生涯にわたる生きる力の基礎を育む。（基本的生活習慣の形成）
 - ② 子どもの人権に配慮した保育を行い、保護者と連携しながら子どもの育ちを支えていく。（「人権擁護のためのセルフチェックリスト」活用）
 - ③ 保育ICTシステムの導入により、保護者との情報交換や記録、請求管理を効率的に行う。

- (3) リスク対策（感染・安全・災害等）
 - ① 様々な感染対策に組織的に取り組む。
 - ② 防災対策の強化（緊急時における保護者連絡体制の整備）
 - ③ 危機管理対策の充実（5園協議会での情報共有を図る）

- (4) 施設・設備整備
 - ① 改修計画の再検討を行う。
 - ② 屋外大型遊具のリニューアルを図るとともに、室内遊具の安全管理に努める。
 - ③ 修理箇所の早期発見と早期対応に努める。（環境委員による定期巡回の実施）

- (5) 地域連携・社会貢献
 - ① 近隣地域（ボランティア、老人クラブ、事業所）との交流を図る
 - ② 地域子育て支援の一翼を担う（オープンデー、子育て相談）
 - ③ 病児、休日保育の充実を図る。

- (6) 経営管理
 - ① 関係機関との連携を図り、入園児数を安定的に確保し健全経営に努める
 - ② 職員間で経営状況を共有し、参画意識の向上と省エネ対策を図っていく。
 - ③ 委託事業の運営管理を適切に行う。（病児保育の予算管理、休日、一時保育の予約に伴う業務）